

阪急阪神ホールディングスが運営する HH cross ID との連携を開始します！ ～ミマモルメをもっと便利に～

阪急阪神ホールディングスグループの株式会社ミマモルメ（本社：大阪市福島区、社長：小坂光彦）は、阪急阪神ホールディングスが運営するグループ共通 ID「HH cross ID」と、ミマモルメサービスとの連携を開始します。これにより、HH cross ID を使用してマイページにログインすることが可能となるなど、当社サービスご利用のお客様のさらなる利便性向上を図ります。

概要は以下のとおりです。

■HH cross ID とは

HH cross ID とは阪急阪神ホールディングスグループが提供する様々なサービスを、ひとつの ID でご利用いただくための ID です。

（詳細は、右記の QR コードまたは
<https://www.hhcross.hankyu-hanshin.jp> 参照）

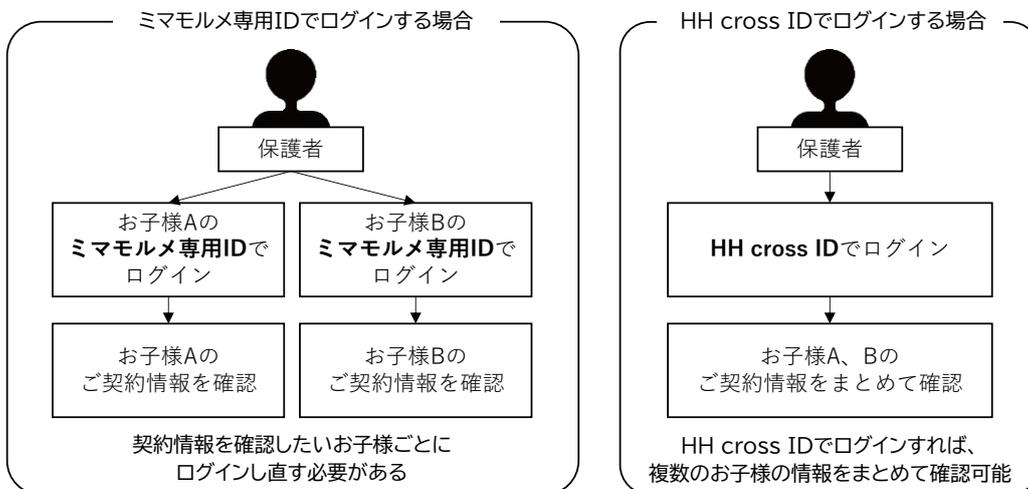


HH cross ID のご登録時に入力したメールアドレスが ID となりますので、複数の ID を取得・管理する手間なく、グループの対象サービスをご利用いただけます。

■HH cross ID とミマモルメサービスの連携内容

- ・ミマモルメ専用 ID ではなく、メールアドレス（HH cross ID）でマイページにログインできるようになります。
- ・HH cross ID でマイページにログインすると、ごきょうだいの契約情報をまとめて確認できます。
※これまででは契約情報を確認したいお子様ごとに、ミマモルメ専用 ID でログインし直す必要がありました。

<例>ごきょうだいが2名いらっしゃる保護者



- ・連携いただいたお客様限定の特典やサービスを提供してまいります。（予定）

■HH cross ID との連携条件

ミマモルメが提供する有料サービス（登下校メールなど）をご利用いただいているお客様が連携対象となります。なお、HH cross ID との連携は任意ですので、連携いただかなくてもこれまでどおりご利用いただけます。

※以下の場合原則として連携対象外となります。

- ・無料サービス（一斉メール、欠席遅刻など）のみをご利用いただいている。
- ・学校や自治体でご利用料金をお支払いいただいている。

今後もミマモルメは、見守り業界のリーディングカンパニーとして ICT を活用して『「あんしん」がかたよりなく存在する社会』の実現を目指します。

株式会社ミマモルメの概要

本	社	大阪府大阪市福島区福島3丁目14番24号
資	本	金 1億円（阪神電気鉄道株式会社100%出資）
設	立	2017年8月
代	表	者 代表取締役社長 小坂 光彦
事	業	内 容 あんしん事業（ミマモルメ）・教育事業（プログラボ）
ホ	ー	ム ペ ー ジ ミマモルメ https://www.hanshin-anshin.jp/ プログラボ https://www.proglab.education/

参考)

■提供サービス

株式会社ミマモルメが提供する「あんしん」サービス

(1)「登下校ミマモルメ」 <https://www.hanshin-anshin.jp/mimamorume/>

全国 24 都府県の小・中・高等学校に拡大中です。

導入校数は 1,800 校を超え、登下校メール利用者数は約 32 万人となりました。

【特徴】

- 1 IC タグを持ったお子様が校門を通過すると、保護者にアプリ・メールでお知らせします。
- 2 緊急時の学校側からの通知をアプリ・メールでお知らせします。(無料)
学年の更新や卒業時の退会処理も可能です。
クラスや学年ごとの配信・アンケート機能などのサービスが充実しています。
- 3 欠席遅刻管理、連絡帳機能(有料オプション)も搭載しています。

(2) 保育園・幼稚園・認定こども園向け SaaS「登降園ミマモルメ」

<https://www.hanshin-anshin.jp/preschool/>

門への機器設置、システムの導入により、園児のカバンなどに入れた IC タグの門通過情報を自動で記録・集計するほか、出欠や遅刻の管理、メール・アンケート機能、自治体への各種申請帳簿出力等で業務負担を軽減します。

【特徴】

- 1 自動読取方式の IC タグを用いているため、カード式、二次元コード読み取り式及びタッチパネル式のような人の手を介した操作が不要です。
- 2 門・玄関を通過しただけで、登降園時間が自動登録されるため、正確な時間管理が可能です。
- 3 自動集計で延長保育管理が可能で、時間帯別の料金設定もできるため、保護者への請求書発行や自治体への各種申請が自動化され、園の管理者負担が軽減可能です。
- 4 園児一人ひとりの登園・降園情報を保護者にアプリ・メールで通知します。

【導入園数】約 150 園

(3)「まちなかミマモルメ」 <https://www.hanshin-anshin.jp/machinaka/>

まちなかに設置されたカメラとビーコンのインフラ網を利用し、お子様や高齢者を見守ります。

【特徴】

- 1 小型端末 (Bluetooth Low Energy) を持ったご家族が、設置されたビーコン (BLE) 受信機付近を通過するとアプリ・メールでお知らせします。
- 2 一般的な BLE のセキュリティの脆弱性を解消した独自のセキュリティを組み込んでおりますので、安心してご利用いただけるのが最大の特長です



【導入事例】

- 1 伊丹市 市内約 1,200 か所に「安全・安心見守りカメラ」と「まちなかミマモルメ」受信器及び約 80 台の市バスに移動式受信機を設置し、お子様や高齢者を見守っています。
- 2 長岡京市 市内約 200 か所に防犯カメラと受信機を設置し、お子様や高齢者を見守っています。

※ その他複数の自治体で導入いただいています。

みまもりマップ <https://www.hanshin-anshin.jp/machinaka/map/>

(4) おうちプラスサービス

お子様の「いってきます(外出)・ただいま(帰宅)」をお知らせします。「登下校ミマモルメ」「まちなかミマモルメ」会員様のオプションサービスです。

※ 学校の門に加え、お子様が自宅の玄関を通った時もお知らせします。

○ 登下校メールおうちプラス <https://mimamorume-anshin.jp/>

○ まちなかミマモルメおうちプラス <https://mimamorume-store.jp/products/iotgateway>

(5) GPS サービス <https://www.hanshin-anshin.jp/gps/>

コンパクトな GPS 端末をランドセルやかばんに入れて持ち歩くだけで、アプリから位置情報や歩いたコースを確認することができるサービスです。ミマモルメアプリ(見守り側)は複数名(両親・祖父母など)登録可能で、家族みんなで見守ることができます。